

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

公表:平成 31年 1月 28日

事業所名 児童デイサービス すだっち 保護者等数(児童数)21 回収数 18 割合 86 %

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	50%	50%	0	0	・階段が急で心配。 ・トイレが狭い。 ・2階は少し怖い子もいるだろうが、職員がついてくれているので安心。 ・カムダウンの場が欲しい。 ・室内だけでなく外での活動も取り入れているのでストレス無く楽しめていると思う。 ・大きい子と小さい子を分けるときも必要。少し狭い。	・ガイドラインに沿った環境を整備しておりますが、今後も野外活動も交えながら、室内環境を整備し、安心して過ごせるよう配慮していきます。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	83%	17%	0	0	・職員のことは分からない	・県の基準以上の職員を配置しております。
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	39%	55%	6%	0	・一回しか見学していないので覚えていない。 ・車椅子使用時の段差が心配。 ・階段が急だが職員が側についているため安全面の配慮は十分と思う。	・車の乗降の際にステップを使用し、階段の昇降時は職員が付き添い安全に努めます。
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	83%	17%	0	0		・個人面談で保護者や本人のニーズや課題を確認し個別支援計画を作成しています。
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	88%	12%	0	0	・土曜日だけの利用だが、スケジュールもしっかりしていて満足。 ・月の予定が早めに分かるのはすごくありがたい。	・活動終了後、全職員で振り返りを行い、今後の活動にどう活かしていくか、職員で検討しています。
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	28%	44%	28%	0		・ワーカーズの職員等、大人との交流はできていますが、今後は積極的に地域のイベントや多方面での活動へ参加していきます。
保護者への 説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	100%	0	0	0		・職員も説明ができるように努めます。
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	83%	11%	0	6%		・今後も、面談時や送迎時、連絡帳で児童の活動時の様子や苦手なことや得意なこと等について共通理解に努めていきます。
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	83%	11%	6%	0		・面談時や送迎時、連絡帳等で保護者からの困り事や改善点があれば、支援していきます。
	# 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	46%	33%	16%	5%		・行事に参加した保護者との連携が継続できればと思います。 ・平成31年2月19日、保護者を対象にした座談会を開催。今後も活動を増やし、保護者同士で話せる場を設けていきます。
#	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	61%	39%	0	0		・事業所内《玄関》に誰でも苦情や意見を言える、目安箱を設置しました。

	#	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	94%	6%	0	0	連絡帳にて様子が分かり易い	・子どもには、分かり易い声掛けや情報の視覚化等を心がけ、保護者には送迎時や連絡帳で日々の様子をお伝えしています。
	#	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	78%	22%	0	0		・現在、ホームページを作成中で近日中に公表予定です。会報については配布できるよう努めます。
	#	個人情報に十分注意しているか	83%	17%	0	0		・活動アルバムは事業所内のみで閲覧するなど、配慮しております。
非常時等の対応	#	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	61%	33%	6%	0		・現在、主治医との連絡体制が必要な児童はおりませんが、てんかん発作等の個別の対処法は保護者より聞き取り調査を済ませ、マニュアル化し職員間で共有しています。今後は保護者にも周知・徹底を促し、協力体制を整えていきます。
	#	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	50%	44%	6%	0	・わが子の利用日と訓練日が重ならないため分からない	・平成30年9月22日に消防訓練、11月17日にシェイクアウト訓練を実施しています。・平成31年3月16日には光市の防災センターにて「地震・煙避難VR体験」等を予定しています。
満足度	#	子どもは通所を楽しみにしているか	78%	11%	0	11%	・気に入っていて、毎日楽しみにしている	・一人ひとりの課題に沿って支援していきます。
	18	事業所の支援に満足しているか	73%	16%	0	11%	・宿題への取り組みをもう少しして欲しい。自宅に帰ってするのは時間的にも本人に負担がかかるため。 ・子どもにとって居場所になり、他の児童や職員に感謝している。 ・楽しかったと帰ってくる事が多く、子どもの笑顔が見られるので嬉しい。	・児童にとって居場所となり、安心して過ごせるよう今後も努めます。また、楽しい活動や体験を通じて、できることを増やし、個々の活動意欲や個性を伸ばしていけるよう支援していきます。

*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせられて実施されることが想定されている。